

事務事業名		田沼庁舎維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	山口みどり	
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1111	一般	2	1	6	田沼庁舎維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	16年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市市内管理規則		任意的事業・義務的事業		義務的事業	
							実施方法		一部委託		
							事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
田沼庁舎の適正な維持管理 ・庁舎、設備等の点検及び修繕			・庁内の建物、設備等の点検を行い、必要に応じ修繕を行った。 ・設備等の保守委託 ・庁内の清掃委託 ・庁舎内消耗品の交換							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
修繕件数			件	25	17	20				
修繕費			千円	1,604	4,706	4,779				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・来庁者 ・田沼庁舎に勤務する職員 ・田沼庁舎及び付帯設備			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			田沼庁舎に勤務する職員数		人	241	280	209		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
・来庁者が安心して来庁できる環境保持 ・事務執行に支障を来さない環境保持			光熱水費/年間管理日数		円/日	28,358	26,059	27,208		
			事業費/年間管理日数		円/日	83,320	90,746	90,164		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			休廃止した事務事業数		事業	130	89	115	110	105
			見直しの図られた事務事業数		事業	465	498	595	590	585

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	726	12	87					
	一般財源	千円	29,686	33,110	32,823					
	事業費計(A)	千円	30,412	33,122	32,910	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	3,618	報酬	3,698	報酬	3,700		
			共済費	565	共済費	540	共済費	621		
需用費			14,593	需用費	17,425	需用費	17,420			
役務費			3,994	役務費	4,313	役務費	3,978			
委託料			6,881	委託料	7,092	委託料	7,136			
受信料			52	受信料	54	受信料	55			
賠償金	709									
人件	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2			
のべ業務時間	時間	1,920	1,920	1,920	1,500	1,500				
人件費計(B)	千円	7,471	7,567	7,567	5,912	5,912				
トータルコスト(A)+(B)	千円	37,883	40,689	40,477	5,912	5,912				

事務事業名	田沼庁舎維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	田沼行政センター	担当係	総務係
-------	------------	-----	-------	-----	----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和43年4月に庁舎本館が完成、昭和58年8月に新館が完成し、現在に至っている。 平成17年2月28日の合併により、分庁舎方式となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・田沼庁舎は昭和43年に建設以来46年が経過し、老朽化が著しく、特に本館屋上防水改修、屋上外壁補修、冷暖房機器改修等が必要になっている。 ・平成21年4月から夜間の庁舎管理を機械警備に移した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	・修繕については、緊急性、危険性を優先的に考慮し実施した。 ・電気機器使用の管理徹底を行い、電気使用量の経費削減を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 適正な庁舎管理を行うことにより、来庁者及び庁舎で業務を行う職員が利用しやすい施設環境になり、より良いサービスが提供できることにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 ・庁舎管理は、所有者が行うものであるため
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ・庁舎を使用するうえで、維持管理は必要不可欠であるため
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 ・職員の省エネ意識の徹底により、維持管理費の削減を図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 葛生行政センター管理事業 分庁舎方式によるため、統合・連携はできない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 ・庁舎の老朽化に伴い修繕必要箇所が増加しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 ・市民誰もが利用する公共施設であるため、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	・庁舎の適正な維持管理は行政運営上、廃止・休止することはできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 通信運搬費については、IP電話を導入することにより経費削減が図れる。電気料金については、デマンド監視等を行うことにより経費削減を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	電気料金の削減を行う上では、職員の省エネ意識の向上が必要である。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	